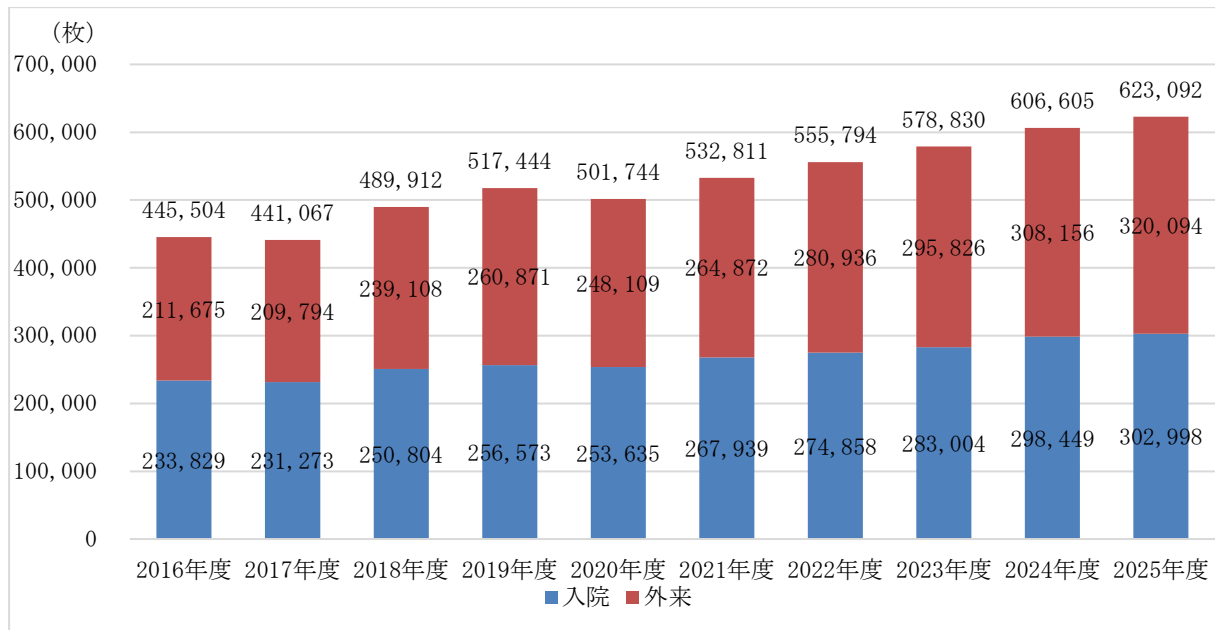


入院・外来処方箋発行枚数の推移



2025年度も入院・外来ともに処方箋発行枚数は増加傾向を維持している。背景として、入院・外来患者数の増加に加え、外来においては院内処方率の上昇が影響していると考えられる。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響による患者数減少に伴い、一時的な減少が認められた。

特に2021年度以降は、入院・外来ともに継続的な増加傾向を示しており、薬剤部として求められる調剤業務量も年々増加している。

このような状況に対し、調剤ロボットの導入や薬剤補助員の増員・業務分担の推進を行うことで、増加する処方箋枚数へ対応するとともに、調剤業務の標準化・効率化を進めている。これにより、業務負荷増大への対応だけでなく、患者待ち時間への影響抑制や、安全性を維持した医療提供体制の強化にも繋げている。

データ提供 薬剤部